

「どうすりゃいいんだチョサクケン」を活用した指導案（高校生用） はじめに

1 学校種/教科等

高等学校 情報Ⅰ・Ⅱ、総合的な探究の時間、特別活動（学級活動、文化祭、生徒会活動）等

2 単元名

著作権

3 評価基準/学習時間/学習目標/学習活動

本アニメ動画教材は、高校生たちが主役の著作権をめぐる5つのストーリー（5つのエピソード）となっていることに加えて、各エピソードに沿って高校生でも理解できる解説動画も用意している。

そのため、教師による解説や講義がなくとも、生徒個人や生徒グループのみで学ぶことができる。評価基準の一つである知識・技能（著作権に関する基礎的な知識の理解）のみならば、4時間程度で終えることができる。

しかし、本アニメ動画/解説動画の開発意図は、評価基準の三観点を網羅し、著作権に関する当事者意識を醸成することに加えて、著作物を積極的に、かつ、適切に利用できる実践力を身に付けることにある。そのため、基礎的な知識・技能の他に、探究的な学びや実践経験を積むような学びも必要である。

以下の表は、基礎編、実践編、探究編の三段階で学ぶ最大13時間の発展的な単元計画例である。

評価基準	学習時間	学習目標	学習活動（学習展開例）
基礎編 （知識・技能、主体的に取り組む態度）	4時間	著作権を尊重し、著作者をリスペクトし、文化の発展に資するという著作権の理念を理解し、他者の著作物を積極的に、かつ、適切に利用するための知識、及び技能を、アニメと解説動画の視聴や簡単なディスカッションを通じて理解する。また、確認テスト等によって知識の定着を図る。	学習展開例 1. 自己アセスメント 2. 動画視聴とディスカッション 3. 確認単元テスト、レポート提出等 4. 振り返り（自己アセスメント）
実践編 （技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度）	4時間	自分の作品がどう扱われたいかという意思表示としてのライセンスの作成を通じて、（将来の）著作者としての当事者意識を萌芽させるとともに、クリエイター（著作者、著作権者）の多様な感情、考えを尊重することの重要性を理解する。また、模擬的な利用許諾交渉を行い、文化祭等で著作物使用の許諾が必要なケースが発生した場合、実際に利用許諾交渉を実践する。	学習展開例 1. 利用許諾交渉のロールプレイを行う（著作者と利用者に分かれて交渉を行う） 2. CCライセンスなどを参考に、（自分の）作品のライセンスを検討する。CCライセンスでカバーできない条件は文章で表現する。

<p>探究編 (知識・技能、思考力・表現力、主体的に取り組む態度)</p>	<p>5時間</p>	<p>個人、またはグループでの調査やディスカッション、論考を通じて、著作権をめぐる様々な課題を探究する。探究の成果をプレゼンテーション、課題研究レポート、ウェブページ・映像作成などの手法で表現（アウトプット）する。</p>	<p>学習展開例</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アニメ動画の各エピソードを参考に著作権をめぐる課題に注目し、探究する課題を選択する。 2. 調査と整理 3. ケーススタディ、ディスカッション、論考（考察） 4. アウトプット（プレゼンテーション、レポート、ウェブページ、映像等）
---	------------	---	--

4 カリキュラム・マネジメント





高等学校で著作権を一単位として取り扱おうとすれば、情報Ⅰの「情報社会の問題解決」等が考えられるが、著作権だけをテーマとした単元に13時間は割けないかもしれない。そのため、以下のようなカリキュラム・マネジメントが必要であると考えられる。

- (1) 文化祭を開催するにあたっての「著作権研修」として設定する。その場合、生徒会や文化祭実行委員会等、生徒が他の生徒向けに「研修」を行うこととする。アニメ動画と同じように、教師も生徒とともに学ぶ（考える）。
- (2) 他の複数教科が連携し、複数の教科（たとえば、情報科の他にも、家庭科、公民科など）で取り扱う。
- (3) 全員の履修ではないが、実践編、探究編は、総合的な探究の時間の個人探究のテーマとして設定する。
- (4) クラス活動や文化系クラブ部活動の一環として学習する機会を設ける。

その他、授業以外でも、たとえば、学校（教員）が生徒の作品をホームページなどで紹介したいといった場合に、生徒とその保護者に対して、著作権許諾交渉を行うなど、学校生活の日常の諸所で著作権について意識することが非常に重要である。

学習展開：基礎知識編（1）


自己アセスメントとエピソード1 動画視聴 50分

	生徒の活動	指導上の留意点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 予習として、授業前までに、自分の現時点の著作権知識や意識について自己アセスメント（アセスメントシート事前）もしくは、教員が用意したウェブフォーム等でチェックし、整理しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業前の予習（宿題）としてアセスメントシート事前（自己アセスメント）を事前にやってくることを望ましい。 授業中に行う場合は、著作権に関する説明等をする前に行う。 紙のアセスメントシートではなくGoogle フォームやロイロノート等でアセスメントシートを用意してもよい。
展開1 20分	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート1に、チェックしたり、メモをとったりしながらアニメ動画/解説動画を視聴する（個人やグループで視聴するか、全体で一斉に視聴するかは教員の指示による） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>■視聴動画 エピソード1（1）～（4）</p> <p>※アニメ編を視聴後、すぐに解説動画を視聴する。</p> <p>（1）著作物とは、著作権とは、他人の著作物を使うには アニメ編（2分51秒） 解説編（5分09秒）</p> <p>（2）外国の著作物を使うには、古い著作物を使うには アニメ編（2分23秒） 解説編（2分08秒）</p> <p>（3）高校の文化祭で著作物を使うには アニメ編（0分42秒） 解説編（2分17秒）</p> <p>（4）他人の著作物を変えて使うには アニメ編（1分23秒） 解説編（1分27秒）</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> アニメ動画は、個別、グループ、クラスなどいずれかの方法で、必ず全編視聴するよう指示する。 動画を視聴した後で、4名グループで、ワークシート1にチェックしたことやメモしたことを共有することを伝える。 <div style="margin-top: 10px;"> <p>エピソード1：敦煌後・浜崎邸守室</p> <p>（1）著作物とは、著作権とは、他人の著作物を使うには</p> <p>▶アニメ編（2分51秒） ▶解説編（5分09秒）</p>  <p>（2）外国の著作物を使うには、古い著作物を使うには</p> <p>▶アニメ編（2分23秒） ▶解説編（2分08秒）</p>  <p>（3）高校の文化祭で著作物を使うには</p> <p>▶アニメ編（0分42秒） ▶解説編（2分17秒）</p>  <p>（4）他人の著作物を変えて使うには</p> <p>▶アニメ編（1分23秒） ▶解説編（1分27秒）</p>  </div>
展開2 15分	<ul style="list-style-type: none"> 4名グループで、ワークシート1のチェックやメモをもとにディスカッション（感想を言い合う、つっこみどころを話合う、解説編を視聴しても意味がわからなかった疑問点等を出し合う、教員の指示したテーマを話合う）をし、わからな 	<ul style="list-style-type: none"> 4名のグループを作り、リーダーを選出するよう促す。 生徒の様子を見て、フリーディスカッションとするか、テーマを絞ったディスカッションにするかを決める。（例：エピソードごとに4名全員が感想や疑問点

	<p>い点などは教員に質問したり、ウェブで調べたりする。</p>	<p>を述べる等)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 基本的にはグループでの学習となるが、教員も質問を受け付ける。教員が、質問に対して明確に答えがわかる場合、根拠を示しながら答えもかまわないが、極力、「もう一度、解説編の〇〇のところを視聴してみたらどうか」、「Wikipediaの著作権の記事を読んでみたらどうか」といった生徒が理解するためのヒントやアドバイスをする程度にとどめることが望ましい。
<p>まとめ 5分</p>	<p>(まとめの時間がある場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 指名されたグループの代表者が教員からの問いかけに答える。 <p>(まとめの時間がない場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • グループ代表が、グループディスカッションでの話題を教員に提出する。 	<p>(まとめの時間をとる場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • いくつかのグループのリーダーに、疑問点、感想を簡単にのべてもらう。 <p>(まとめの時間をとらない場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • つぎの授業までに、グループで出た話題について、何らかの方法で教員に提出するよう呼びかける。

学習展開：基礎知識編（2）





エピソード2 動画視聴 50分

	生徒の活動	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> • 前回のエピソード1を振り返り、本時はエピソード2を視聴することを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 教員は解説をせず、エピソードと解説編のビデオを交互に視聴することを伝える。
展開1 25分	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシート2に、チェックしたり、メモをとったりしながら動画を視聴する（個人やグループで視聴するか、全体で一斉に視聴するかは教員の指示による）。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>■ 視聴動画</p> <p>エピソード2（1）～（5）</p> <p>※アニメ編を視聴後、すぐに解説動画を視聴する。</p> <p>(1) 舞台背景に無料動画配信サービスの動画を使うには アニメ編（2分11秒） 解説編（0分44秒）</p> <p>(2) 他人の写真を参考にして舞台背景を描くには アニメ編（1分36秒） 解説編（3分18秒）</p> <p>(3) 舞台背景にフリー素材の写真を使うには アニメ編（0分52秒） 解説編（1分42秒）</p> <p>(4) BGMに今年流行った音楽の動画を使うには アニメ編（1分00秒） 解説編（3分09秒）</p> <p>(5) BGMに今年流行った音楽を演奏・録画して使うには アニメ編（2分30秒） 解説編（1分02秒）</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 動画を視聴した後で、4名グループで、ワークシート2にチェックしたことや解説編を読んでもわからなかった疑問点など話合うことを伝える。 <div style="margin-top: 10px;"> <p>エピソード2：別の日の放課後・演劇部部室</p> <p>(1) 舞台背景に無料動画配信サービスの動画を使うには</p> <p>▶ アニメ編 (2分11秒) ▶ 解説編 (0分44秒)</p>  <p>(2) 他人の写真を参考にして舞台背景を描くには</p> <p>▶ アニメ編 (1分36秒) ▶ 解説編 (3分18秒)</p>  <p>(3) 舞台背景にフリー素材の写真を使うには</p> <p>▶ アニメ編 (0分52秒) ▶ 解説編 (1分42秒)</p>  <p>(4) BGMに今年流行った音楽の動画を使うには</p> <p>▶ アニメ編 (1分00秒) ▶ 解説編 (3分09秒)</p>  <p>(5) BGMに今年流行った音楽を演奏・録画して使うには</p> <p>▶ アニメ編 (2分30秒) ▶ 解説編 (1分02秒)</p>  </div>
展開2 15分	<ul style="list-style-type: none"> • 4名グループで、ワークシート2のチェックやメモを基にディスカッション（感想を言い合う、つっこみどころを話合う、解説編を視聴しても意味がわからなかった疑問点等を出し合う、教員の指示 	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒の様子を見て、フリーディスカッションとするか、テーマを絞ったディスカッションにするかを定める。（例：エピソードごとに4名全員が感想や疑問点を述べる等）

	<p>したテーマを話合う)をし、わからない点などは教員に質問したり、ウェブで調べたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 基本的にはグループでの学習となるが、教員も質問を受け付ける。教員が、質問に対して明確に答えがわかる場合、根拠を示しながら答えもかまわないが、極力、「もう一度、解説編の〇〇のところを視聴してみたらどうか」、「Wikipediaの著作権の記事を読んでみたらどうか」といった生徒が理解するためのヒントやアドバイスをする程度にとどめることが望ましい。
<p>まとめ 5分</p>	<p>(まとめの時間がある場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 指名されたグループの代表者が教員からの問いかけに答える。 <p>(まとめの時間がない場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • グループ代表が、グループディスカッションでの話題を教員に提出する。 	<p>(まとめの時間をとる場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • いくつかのグループのリーダーに、疑問点、感想を簡単にのべてもらう。 <p>(まとめの時間をとらない場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • つぎの授業までに、グループで出た話題について、何らかの方法で教員に提出するよう呼びかける。

学習展開：基礎知識編（3）

エピソード3・4・5動画視聴 50分

	生徒の活動	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> • 前回までの学習（動画視聴、ワークシート1・2を振り返る。 • 本時はエピソード3・4・5を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 教員は解説をせず、解説編のビデオを視聴することを伝える。
展開1 25分	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシート3に、チェックしたり、メモをとったりしながら動画を視聴する（個人やグループで視聴するか、全体で一斉に視聴するかは教員の指示による）。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>■ 視聴動画</p> <p>エピソード3・4・5</p> <p>※短編アニメ動画を視聴後、すぐに解説動画を視聴する。</p> <p>エピソード3「文化祭の公演を録画してホームページで配信するには・文化祭の公演を録画してDVDで配布するには」</p> <p>アニメ編（2分53秒）</p> <p>解説編（3分07秒）</p> <p>エピソード4「文化祭の公演を録画・撮影してSNSで配信するには」</p> <p>アニメ編（2分18秒）</p> <p>解説編（1分51秒）</p> <p>エピソード5（1）有名人の顔がプリントされたTシャツを着た写真をSNSで配信するには</p> <p>アニメ編（1分18秒）</p> <p>解説編（3分02秒）</p> <p>エピソード5（2）プロの音楽ライブを録画してSNSで配信するには</p> <p>アニメ編（3分15秒）</p> <p>解説編（2分16秒）</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 解説編動画は、個別、グループ、クラスなどいずれかの方法で、必ず全編視聴するように指示する。 • 動画を視聴した後で、4名グループで、ワークシート3にチェックしたことや解説編を視聴してもわからなかった疑問点を話し合うことを伝える。 <div style="margin-top: 10px;"> <p>エピソード3：文化祭の数日前・職員室</p> <p>文化祭の公演を録画してホームページで配信するには 文化祭の公演を録画してDVDで配布するには</p> <p>▶ アニメ編 (2分53秒) ▶ 解説編 (3分07秒)</p>  <p>エピソード4：文化祭当日（演劇公演直後）・密着</p> <p>文化祭の公演を録画・撮影してSNSで配信するには</p> <p>▶ アニメ編 (2分18秒) ▶ 解説編 (1分51秒)</p>  <p>エピソード5：文化祭当日（演劇公演終了後）・演劇部部室</p> <p>(1) 有名人の顔がプリントされたTシャツを着た写真をSNSで配信するには</p> <p>▶ アニメ編 (1分18秒) ▶ 解説編 (3分02秒)</p>  <p>(2) プロの音楽ライブを録画してSNSで配信するには エンディング 10年後</p> <p>▶ アニメ編 (3分15秒) ▶ 解説編 (2分16秒)</p>  </div>
展開2 15分	<ul style="list-style-type: none"> • 前回までと同じ4名のグループとリーダーで、解説編を視聴しても意味がよくわからなかったことについて、グループで考えたり、ウェブサイトで調べたり、教員に質問したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒の様子を見て、フリーディスカッションとするか、テーマを絞ったディスカッションにするかを決める。（例：エピソードごとに4名全員が感想や疑問点を述べる等） • 基本的にはグループでの学習となるが、

		<p>教員も質問を受け付ける。教員が、質問に対して明確に答えがわかる場合、根拠を示しながら答えもかまわないが、極力、「もう一度、解説編の〇〇のところを視聴してみたらどうか」、「Wikipediaの著作権の記事を読んでみたらどうか」といった生徒が理解するためのヒントやアドバイスをする程度にとどめることが望ましい。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>(まとめの時間がある場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 指名されたグループの代表者が教員からの問いかけに答える。 <p>(まとめの時間がない場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • グループ代表が、グループディスカッションでの話題を教員に提出する。 	<p>(まとめの時間をとる場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • いくつかのグループのリーダーに、疑問点、感想を簡単にのべてもらう。 <p>(まとめの時間をとらない場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> • つぎの授業までに、グループで出た話題について、何らかの方法で教員に提出するよう呼びかける。

学習展開：基礎知識編（４）

単元テスト（もしくはレポート）と自己アセスメント 50分

	生徒の活動	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> • 前回までの学習を振り返る 	
展開1 35分	<ul style="list-style-type: none"> • 単元テストに取り組む（20分） ※単元テストの代わりにレポートやプレゼンテーションでもよい。 • 模範解答の解説（15分） 	<ul style="list-style-type: none"> • レポート、プレゼン作成の場合、35分の時間をとる。プレゼンについては別途が確保できれば発表してもらおう。 • レポート、プレゼンの場合には、提出期限、提出方法等を別途設定する。
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> • アセスメントシート事後（自己アセスメント）でチェックし、省察する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 必ずしも授業中にアセスメントシート事後（自己アセスメント）はやらなくてもよい（後日提出）。 • 紙のアセスメントシートではなく Google フォームやロイロノート等でアセスメントシートを用意してもよい。

学習展開：実践編（１）

模擬交渉：ロールプレイ ５０分

	生徒の活動	指導上の留意点
導入 ５分	<ul style="list-style-type: none"> • ５名グループを作り、以下の役割にわかれる。 ＜生徒会広報担当生徒 ２名＞ ＜共同脚本制作生徒 ３名＞ 	<ul style="list-style-type: none"> • アニメ動画のストーリーにあわせて、生徒会が、演劇部 ３名に、著作権許諾交渉をするロールプレイを行う。生徒会広報担当 ２名のうち、１名は担当教員役でもよい。 • ロールプレイの設定（ロールプレイ用ワークシート）を簡単に説明する。
展開１ ３０分	<ul style="list-style-type: none"> • 文化祭の演劇がすばらしかったため、生徒会広報部が、演劇部取材し、脚本共同制作者 ３名の顔写真と紹介、脚本、演劇の様子の動画と写真の記事を学校ホームページに掲載したいと考えました。 そこで、演劇部の脚本共同制作者 ３名に、肖像権の同意、及び、脚本の著作権利用許諾契約交渉をします。 ただし、３名は以下のような性格で、多様な感情を抱いていることとします。しかし、この ３名はとても仲良しです。生徒会担当者は、この交渉によって３名の仲が悪くなったりしないように配慮しつつ、条件などを話し合ってください（交渉は決裂してもかまいません）。 ＜何事もポジティブな A さん＞ 自己肯定感、自己効力感、自己評価が高く、承認欲求も高いため、写真や映像にうつることが大好き、SNS などの投稿も普段から多い。自分が作った作品はどんどん世に広まってほしいし、自分の名前が有名になることは、お金をもらうことよりも、うれしい。 ＜優柔不断な B さん＞ 写真にうつること、写真がネットに回ることに對して、嫌ではないが、好きでもない。なかなか素早い判断ができず、強い意見の人に流されがち。ポジティブな A さんに共感することもあれば、ネガティブな C さんの気持 	<ul style="list-style-type: none"> • タブレット端末に、議論の経過をメモしてもらい、あるいは、グループに １枚ホワイトボードを配付して、議論の経過を書いてもらう。

	<p>ちもわかるため、中立的で仲裁もできるが、優柔不断でもあり、自分よりも人との関係性を優先しがち。</p> <p><何事もネガティブなCさん></p> <p>自己肯定感、自己効力感が低く、自信がないため、承認欲求はあっても、人には絶対に知られたくない。写真の撮影や SNS の投稿は苦手で、かなり嫌がる。脚本、絵などの創作は好きだが、仲良しの A さん、B さんに見てもらうのは楽しいが、それ以外のクラスメイトや他学年、保護者などに、自分の作品や自分の思考が記事としてさらされるはかなり嫌。</p>	
<p>まとめ 15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> • それぞれどのような話し合いがされたか、どういう結論（決裂、締結、保留）や条件（利用許諾契約）となったかをグループの代表者が発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> • どのような議論がなされ、どのような結論になったか、契約成立した場合、どのような条件となったかを尋ね、適宜コメントを加える。

学習展開：実践編（2）

利用規約を読む（フリーサイトのライセンスを調べる） 50分

	生徒の活動	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> • 前回の学習を振り返る。 • 本時はフリーサイト等の利用規約を調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 利用規約を読む（ワークシート）を配付する。
展開1 30分	<p>①「どうすりゃいいんだチョサクケン」の利用規約</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 主な著作者名/監修者 (2) アニメーション制作会社 (3) アニメーター名 (4) 主な声優名（実演家） (5) 問い合わせ先 (6) 利用規約（利用料金等、無断で利用できる行為、禁止されている行為など） <p>② フリーイラストサイト「いらすとや」の利用規約</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) サイト名 (2) 何を公開しているか？ (3) サイトやコンテンツの特徴 (4) 問い合わせ先 (5) 利用規約（利用料金等、無断で利用できる行為、禁止されている行為、有料とされる行為など） <p>①興味があるフリーサイト等の著作権に関する利用規約</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) サイト名 (2) 何を公開しているか？ (3) サイトやコンテンツの特徴 (4) 問い合わせ先 (5) 利用規約（利用料金等、無断で利用できる行為、禁止されている行為、有料とされる行為など） 	
まとめ 15分	<ul style="list-style-type: none"> • 調査したサイトの利用規約についてごく簡単に何名か発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> • ①と②の利用規約の特徴を簡単に解説し、③については何名かの生徒に発表してもらおう。

学習展開：実践編（3）

CCライセンスについて知る 50分

	生徒の活動	指導上の留意点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> • 前回の授業を振り返る。 • 著作物の利用を円滑に進めるために著作権法に権利制限規定があることに加え、著作権者が自分の作品の著作権に関してあらかじめ意思表示をしておくCCライセンスについて理解し（本時）、様々な利用規約を読んだり、自分たちが作ったサイトの利用規約を作成する（次回）。 	<ul style="list-style-type: none"> • 解説編動画 1-3 を放映するなどして権利制限規定について確認する。
展開1 15分	<ul style="list-style-type: none"> • クリエイティブ・コモンズ・ライセンスのライセンス表示の意味を、通常の著作権と比較しながら、理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><u>CC BY（表示）</u> 作品を複製、頒布、展示、実演等するにあたり、著作権者の表示を要求する。</p> <p><u>CC BY-NC（表示-非営利）</u> 作品を複製、頒布、展示、実演等するにあたり、著作権者の表示を要求し、非営利目的での利用に限定する。</p> <p><u>CC BY-ND（表示-改変禁止）</u> 作品を複製、頒布、展示、実演等するにあたり、著作権者の表示を要求し、いかなる改変も禁止する。</p> <p><u>CC BY-NC-ND（表示-非営利-改変禁止）</u> 作品を複製、頒布、展示、実演等するにあたり、著作権者の表示を要求し、非営利目的での利用に限定し、いかなる改変も禁止する。</p> <p><u>CC BY-SA（表示-継承）</u> 作品を複製、頒布、展示、実演等するにあたり、著作権者の表示を要求し、作品を改変・変形・加工してできた作品について、元になった作品と同じライセンスを継承させた上で頒布を認める。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • CCライセンスが作られた歴史的経緯についても触れながら、解説する。

	<p><u>CC BY-NC-SA (表示-非営利-継承)</u></p> <p>作品を複製、頒布、展示、実演等するにあたり、著作権者の表示を要求し、非営利目的での利用に限定し、作品を改変・変形・加工してできた作品について、元になった作品と同じライセンスを継承させた上で頒布を認める。</p> <p><u>CCO</u></p> <p>著作権を含む多くの権利を手放し、パブリックドメインへの供与を宣言する（CCOの宣言において作者が手放す対象の権利は各国の著作権法に依存）。</p>	
<p>展開2 20分</p>	<ul style="list-style-type: none"> •Googleなどの検索エンジンでCCライセンスの画像、写真を探し、どのようなライセンスか調し、ワークシートにまとめる。 	
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 画像や写真で様々なライセンスが設定されていること（たとえば、学校で学ぶ未成年者ならば無断で改変してもよいが、成人は改変不可のようなCCライセンスでは設定できないライセンスが必要なケースがあり、その場合は、文章で書く必要があること）を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 調べたことを何名かに発表させる。

学習展開：実践編（４）

作品にライセンスを設定する 50分

	生徒の活動	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> • 前回の学習を振り返る。 • 本時は、演劇部 3 名が共同でオリジナル脚本を著作し、その脚本のライセンスを設定するシミュレーションを行う。 • 3名1組のグループを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自作脚本にライセンスを設定する実習であるが、必ずしも CC ライセンスを設定せずともよいことを伝える。つまり、通常の All rights reserved でもよいし、文章で細かくライセンスを設定してもよいし、営利目的で利用する場合の料金設定などもしてよいことを伝える。 • 3名グループが基本であるが、4名や5名でもよい。 • 小グループではなく、クラス全員で議論して、クラスとしてライセンスを設定してもよい。
展開1 35分	<ul style="list-style-type: none"> • 演劇部3名が共同制作したオリジナルの演劇脚本のライセンスをどうするかを議論し、設定する。 • 必ずしも CC ライセンスでなくともよい。通常の著作権 (All rights reserved) でもよいし、料金を細かく設定してもよいし、文章で詳細を書いてもよいし、著作権を放棄 (パブリックドメイン) でもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「なんとなく」など適当にライセンスを設定せず、他の人に説明できる根拠や理由に基づくライセンスを設定するよう伝える。
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> • 各グループが、どのようなライセンスを設定したか、議論の課程や根拠を述べながら発表する。 	

学習展開：探究編 50分×5（5時間）

	生徒の活動	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 基礎編での学びを簡単に振り返るとともに、本時以降の学習内容を知る。 1時間目（本時）：グループ課題選択のための論点整理と課題選択、役割分担 2時間目：調査、情報整理、資料収集 3時間目：ディスカッション 4時間目：アウトプットの準備（プレゼン用スライド作成、レポート作成、映像作成などいずれか） 5時間目：発表 	<ul style="list-style-type: none"> 本時以降の学びの方法、スケジュールについて、大まかな流れを示す。 5時間目に1グループ15分程度の研究発表をすることを伝える。
展開1 35分	<ul style="list-style-type: none"> アニメ動画に関連した探究課題（論点整理シート）を考える。 <論点整理シート（抜粋）> ■エピソード1 (1) 著作物とはどのようなものかについて理解を深めるために、裁判で「著作物」と認められた例と認められなかった例を調査する（難易度★★） (2) シェイクスピアの時代に著作権はなかったのか、日本に著作権の考え方を持ち込んだのは誰か？など著作権の歴史や、国際条約であるベルヌ条約について探る（難易度★★★） (3) 権利制限規定のうち、学校での著作物の利用（2018年改訂、2020年施行の著作権法第35条）に関して調査し、課題などを探る（難易度★★） (4) 原作（小説、漫画など）をテレビドラマや映画として二次使用する際に制作された脚本が原作と大幅に変わることがあり、原作者と脚本家とのトラブルに発展した事例などを調査し、著作者人格権を探る（難易度★★★★★） 	<ul style="list-style-type: none"> アニメ動画を振り返りながら、各エピソードに関連する課題を提示する（論点整理シート）。

■エピソード2

- (1) 無料動画投稿サイトのビジネスモデル(YouTube)の仕組みを調査し、動画の著作権、音楽や映像の著作権(著作権隣接権を含む)について探る(難易度★★)
- (2) 著作権をめぐる「炎上」事件を調査、検討し、著作権の問題なのか、別の権利の問題なのか、それとも著作権等とは関係のない人の感情の問題なのかを探る(難易度★★)
- (3) 「著作権フリー」の落とし穴を探る。著作権フリーでイラスト、写真、音楽等を提供している、いわゆるフリーサイトの利用規約やトラブルになった事例などを調査する(難易度★★)
- (4) YouTubeで、「踊ってみた」動画投稿やテレビ番組の投稿が著作権隣接権者の申し立てにより削除された例を調査、検討し、著作権隣接権について探る(難易度★★★)
- (5) 合唱祭で自分たちが歌った歌をBGMに使用して、クラスの思い出をまとめる映像を制作し、DVDでクラス全員に無料で配布する場合、JASRAC等にどのような許諾を取ればよいのか、どの程度の使用料がかかるのかなどを探る(難易度★)

■エピソード3

学校ホームページ等へイラストを無断掲載したことによる損害賠償事件についてニュース報道などを調査し、その原因、対策などを探る(難易度★★)

■エピソード4

LINE、X、Instagram、TikTok、YouTubeそれぞれの著作物の利用に関してライセンスを調査、検討する(難易度★★★★)

	<p>■エピソード5</p> <p>著作権以外の権利(肖像権、パブリシティ権など)は著作権と何が異なるのか探る(★)</p>	
<p>展開2 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> • グループで話し合い、グループで探究する課題を選択する。 • グループ内での役割分担を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> • グループの数にもよるが、課題が重ならないように調整する。
<p>2時間目以降の学習展開</p> <p>2時間目：グループでの調査、情報整理、資料収集</p> <p>3時間目：グループでのディスカッション</p> <p>4時間目：アウトプットの準備(プレゼン用スライド作成、レポート作成、映像作成などいずれか)</p> <p>5時間目：発表</p>		